

日本鱗翅学会 第68回大会（東京）プログラム

第1日目 10月29日（土）

時間	内容	会場
9:00～11:00	評議員会	A会場（417室）
11:00～	大会受付開始	A会場（417室）前
12:20～12:30	開会の挨拶	A会場（417室）
12:30～13:40	学会賞授賞式および学会賞受賞記念講演	
第二回日本鱗翅学会賞受賞記念講演 三枝豊平（九州）、ホシチャバネセセリから昆虫系統発生学へ。 牧林 功（関東）、テトラポダ Tetrapoda, 四脚虫は誕生するか。		
13:40～13:50	休憩	
13:50～16:20	大会シンポジウム	A会場（417室）
蝶と蛾の多様性と進化 オーガナイザー：矢後勝也・新津修平（関東） S101. 今田弓女（愛媛大）、原始的なガ類、コバネガの生態の進化にせまる。 S102. 矢後勝也（関東・東大総研博）、深層学習による画像認識技術を用いたチョウの多様性と進化に迫る定量的アプローチ。 S103. 広渡俊哉（九州・九大院農）、小蛾類の多様性研究—最近のトピック。 S104. 河原章人（フロリダ大フロリダ自然史博）、【海外招待講演】蝶と蛾の3億年の進化(Three hundred million years of Lepidoptera Evolution).		
16:20～16:35	写真撮影	A会場（417室）

第2日目 10月30日(日)

時間	内容		
	一般講演 (A 会場, 417 室)	一般講演 (B 会場, 416 室)	一般講演 (C 会場, 409 室)
9:00 ~ 10:15	<p>A201. 小田康弘 (関東), ウラギンヒョウモンの学名について.</p> <p>A202. ○木村富至¹・石 雅和² (¹近畿, ²日本蝶類科学学会), 福井県のムラサキツバメ初記録 と調査から分かった分布と生態.</p> <p>A203. ○江田慧子¹・中村寛志² (¹近畿・関学大, ²信越・信州大), 絶滅危惧種オオルリシジミの環 境教育教材の開発と実践.</p> <p>A204. ○寺 章夫¹・蓑原 茂¹, ²・矢後勝也^{1,2} (¹関東, ²東大 総研博), 狭山丘陵で大発生し たウスバシロチョウのマーキン グ調査による個体数推定.</p> <p>A205. 井上大成 (関東・森林総 研多摩), ルーミスシジミの発 育零点と有効積算温度.</p>	<p>B201. 田村昭夫 (中国), 鳥取で発生したリュウキュウム ラサキ.</p> <p>B202. 中川忠則 (北海道), 2022年コーカサス・アルメニア の蝶.</p> <p>B203. 佐々木幹夫 (関東), ミヤマチャバネセセリの食草に 関する新知見: セイバンモロコ シについて.</p> <p>B204. 藪 新太郎 (九州), チョウの羽化における翅拡大の メカニズム.</p> <p>B205. ○西 雅刀¹・乾 陽子². 平井規央^{1,3}・上田昇平^{1,3} (¹大阪公立大院, ²大阪教育大院, ³近畿), キマダラルリツバメを 含む数種のシジミチョウ幼虫に 対するハリプトシリアゲアリの 行動の比較.</p>	<p>C201. 川田智子 (関東), 都立公園のバタフライガーデン 石神井公園「蝶々園」ができる まで.</p> <p>C202. 美ノ谷憲久 (関東), バタフライガーデンの楽しみ方.</p> <p>C203. ○松井 安俊・星 光流 (関東), 多摩丘陵北部の蝶・最近10年の 変化.</p> <p>C204. ○鈴木信也¹・神保宇嗣². 屋宜禎央³・広渡俊哉³ (¹九州・ 九大院生資環, ²関東・国立科博, ³九州・九大院農), 日本産 <i>Phalonidia</i> 属 (ハマキガ 科) 2種の分類学的再検討.</p> <p>C205. 外村俊輔 (日本蛾類学会・ 九大院生資環), 日本産クロモンベニマルハキバ ガに関する知見 (キバガ上科: マルハキバガ科).</p>
10:15 ~ 10:30	休 憩		
10:30 ~ 11:30	<p>A206. 小田切頭一 (九州・九大 院比文), ゼフィルス類のハン ドペアリング.</p> <p>A207. 三宅誠治 (中国), ヒサマツミドリシジミの食樹に 関する検証.</p> <p>A208. 北原 曜 (信越), モンキチョウの産卵試験と幼虫 の接種試験.</p> <p>A209. 河原章人 (フロリダ大フ ロリダ自然史博), 世界の蝶と蛾の減少について.</p>	<p>B206. ○上辻愛織¹・上田昇平². 矢後勝也³・平井規央² (¹大阪 府大院, ²近畿・大阪公立大院, ³関東・東大総研博), クロツバメシジミとムシャクロ ツバメシジミにおける幼虫期の 食草と成虫の翅色の関係.</p> <p>B207. ○福田琳之介¹・上田昇 平¹・矢後勝也²・平井規央¹ (¹近畿・大阪公大院, ²関東・ 東大総研博), マイクロサテライトマーカーに より解析した日本産ヒメシロ チョウ属2種の遺伝的多様性.</p> <p>B208. ○三橋 渡^{1,2}・麻生紀章¹. 青木航太¹・矢後勝也^{1,2} (¹関東, ²東大総研博), 種間雑種の斑紋 形質を有するチョウ個体の遺伝 子解析による同定.</p> <p>B209. 中嶋正道 (東北), オオイ チモンジ <i>Limenitis populi</i> におけ るマイクロサテライトマーカー の開発と遺伝的多様性評価.</p>	<p>C206. ○松井悠樹¹・小濱彩里². 中 秀司² (¹中国・鳥取大院, ²中国・鳥取大農), 同一種の性的二形であることが 判明したキボシノメイガとホン バソトグロキノメイガ.</p> <p>C207. 岸田泰則 (日本蛾類学会), イラクサゴマダラヒトリについ て.</p> <p>C208. 那須義次 (近畿), 新たに 日本から発見された <i>Fibuloides</i> 属 (ハマキガ科, ヒメハマキガ 亜科) の2種.</p> <p>C209. 四方圭一郎 (信越), 赤石 山脈のオオギンスジコウモリ.</p>

	A 会場 (417 室)	B 会場 (416 室)	C 会場 (409 室)
11:30 ~ 12:00	休 憩	将来計画特別委員会	休 憩
12:00 ~ 13:00		自然保護委員会	
13:00 ~ 13:30	総 会		
	小集会 (A 会場, 417 室)	小集会 (B 会場, 416 室)	小集会 (C 会場, 409 室)
13:30 ~ 15:00	<p>WA-1. 若手蛾類愛好者の集い 世話人：阪本優介（日本蛾類学会）・新津修平（関東）</p> <ol style="list-style-type: none"> 川島育海（日本蛾類学会），菅平高原で採集した小蛾類について。 佐々木詩恩（日本蛾類学会），蛾屋が行かないマイナー離島でのライトトラップ。 山谷 遼（日本蛾類学会），大学近辺で得られた蛾類、近年の蛾事情。 神澤由己（日本蛾類学会），北海道遠征記。 志田智義（日本蛾類学会），ペナントレース体験記・草地性蛾類の定点調査。 安西 稔（日本蛾類学会），ぶらつき学生蛾屋。 平坪和規（日本蛾類学会），東海地方の注目したい大蛾類。 	<p>WB-1. 続・保全のシンボルとしての都道府県のチョウ 世話人：矢後勝也・小田康弘（LSJ 自然保護委員会）</p> <ol style="list-style-type: none"> 工藤 忠（東北），東北地区の都道府県のチョウ選定候補について。 福本匡志（信越），信越地区の都道府県のチョウ選定候補について。 亀山 剛（中国），中国地区の都道府県のチョウ選定候補について。 矢後勝也（関東・東大総研博），北海道・四国・九州地区の都道府県のチョウ選定候補について。 	<p>WC-1. みんなのジュニア鱗翅学会 世話人：LSJ 関東支部幹事会</p> <ol style="list-style-type: none"> 仁地悠人（関東・成城学園初等学校），ホシミスジの東京都世田谷区での分布と東京都に生息する二つの亜種について。 青木航太（関東・広尾学園高等学校），ギフチョウ幼虫の集合効果について。 高橋 凜（関東・東京女学館高等学校），私とアサギマダラ。 川畑春佳（九州・沖縄県立久米島高等学校），入れ歯洗浄剤を用いた蛾類の交尾器の観察とその活用。
15:00 ~ 16:15	<p>WA-2. 第 82 回レピゼミ 世話人：那須義次（近畿）</p> <ol style="list-style-type: none"> 鈴木信也（九州・九州大），本州、四国、九州で発見された <i>Schoenotenini</i> タテゲハマキガ族（ハマキガ科）の 1 未記録種について。 屋宜禎央（九州・九州大），日本産ハモグリガ科 <i>Lyonetia</i> 属の最近の新知見。 ○吉松慎一¹・綿引大祐²・田端 純³（¹関東・農研機構植防研・東京農大，²信越・新潟大，³農研機構植防研・筑波大），ツマジロクサヨトウ用フェロモントラップで誘引されるチョウ目昆虫とその識別法。 那須義次（近畿），イヌマキの葉に潜るヒメハマキガ。 		
16:15	閉 会		